

科目名	使用教科書・副教材等	単位数	学科・学年
「工業技術基礎」	工業技術基礎（実教出版）	2単位	繊維科・第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	実験・実習及び、ものづくりを通して工業技術への興味関心を高め、工業の意義や役割を理解するとともに、工業に関する広い視野と倫理観をもって工業の発展を図る意欲的な態度を育てる。
---------	--

2 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查
1学期	※ 人と技術と環境	4	・技術者として人と社会の関係を理解する。	実施しない
	※ 実験・実習報告書の作成	5	・正しい報告書の描き方を理解する。	
	1 意匠図の制作	6	・織物組織の描き方を理解する。	
	2 知的財産とアイデアの発想	7	・知的財産権の先行調査について理解する。	
	3 デザインの基礎		・色の表示方法について学ぶ。	
4 高分子材料について		・繊維の基礎、テキスタイル素材を理解する。		
2学期	※ 事故防止と安全の心構え	8	・事故防止の意義・安全対策について理解する。	実施しない
	1 意匠図の制作	9	・織物のデザインから意匠図の作成方法を学ぶ。	
	2 知的財産とアイデアの発想	10	・製品のデザインと機能性について理解する。	
	3 デザインの基礎	11	・テキスタイルデザインと色彩の心理効果を学ぶ。	
	4 高分子材料について	12	・素材を理解し、その加工方法を身に付ける。	
3学期	※ 発表のしかた	1	・プレゼンテーションの方法を理解する。	実施しない
	1 意匠図の制作	2	・パソコンを使って織物意匠を表現できる。	
	2 知的財産とアイデアの発想		・デザインクリップの制作技術を学ぶ。	
	3 デザインの基礎	3	・写真・アニメーションの制作方法を理解する。	
	4 高分子材料について		・加熱の基礎、質量・容量の測定の技術を学ぶ。	

・学習内容の※印は一斉授業で実施する。1～4は班別でローテーションして実施する。

3 評価規準及び評価方法

(1) 評価規準

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	工業の各分野に関する基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和の取れたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技術を身に付けている。(1～4の学習内容についてそれぞれ指示される学習内容と学習のねらいに沿った評価基準とする。)	工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身に付けている。(1～4の学習内容についてそれぞれ指示される学習内容と学習のねらいに沿った評価基準とする。)	工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身に付けている。(1～4の学習内容についてそれぞれ指示される学習内容と学習のねらいに沿った評価基準とする。)

(2) 評価方法

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
方法	授業中に実施する課題や実習内容の精度等で総合的に評価する。(1～4の学習内容についてそれぞれ指示される学習のねらいなどの項目について評価する。)	適切な作業手順を考え、作業内容の良し悪しを判断できているのか、発表内容及びレポートや班別活動、プレゼン内容等で総合的に評価する。(1～4の学習内容などの項目について評価する。)	興味関心を持って自主的に取り組み、熱心に作業する態度を身に付けているのかを振り返りシートの内容や自己評価及び相互評価等で総合的に評価する。(1～4の学習内容などの項目について評価する。)

4 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・工業の基礎的な実技を習得します。定期考査を行わないので出席に留意してください。 ・レポート、作品等の提出は、期限を厳守してください。 ・実習は班別に活動するので、班員と協力しながら取り組んでください。 ・安全に留意して作業を行い、実習機器の正しい取り扱いや活用方法を学習してください。
--